

平成29年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年12月1日

上場取引所 東

上場会社名 ピープル株式会社

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役

(氏名) 桐渕 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当

(氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成28年12月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年1月期第3四半期の業績(平成28年1月21日～平成28年10月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第3四半期	3,420	8.4	370	△8.4	346	△14.8	230	△11.4
28年1月期第3四半期	3,154	34.3	404	185.5	406	176.9	260	189.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第3四半期	52.65	—
28年1月期第3四半期	59.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第3四半期	2,393	1,976	82.6	451.71
28年1月期	2,728	2,106	77.2	481.47

(参考)自己資本 29年1月期第3四半期 1,976百万円 28年1月期 2,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	90.00	90.00
29年1月期	—	0.00	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)平成29年1月期の期末配当予想につきましては、年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

3. 平成29年1月期の業績予想(平成28年1月21日～平成29年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,737	1.6	567	△7.1	545	△10.7	356	△9.9	81.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期3Q	4,437,500 株	28年1月期	4,437,500 株
29年1月期3Q	63,181 株	28年1月期	63,088 株
29年1月期3Q	4,374,346 株	28年1月期3Q	4,374,475 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	8
①第3四半期累計期間売上高	8
②新発売商品及び主なリニューアル商品	8

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

	第2四半期累計期間 (6ヵ月間)		第3四半期累計期間 (9ヵ月間)	
	(平成28年1月21日～平成28年7月20日)		(平成28年1月21日～平成28年10月20日)	
	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比
売上高	2,217百万円	11.8 増	3,420百万円	8.4 増
営業利益	225百万円	7.1 減	370百万円	8.4 減
経常利益	208百万円	15.0 減	346百万円	14.8 減
四半期純利益	138百万円	11.6 減	230百万円	11.4 減

前第2四半期末に予想した国内販売の低迷は、当第3四半期においても同様に推移し、第3四半期累計期間の売上高は34億20百万円、前年同期間対比8.4%増となり、想定範囲の伸びに留まりました。

当第3四半期間では、円高や冴えない消費を背景に消費者の安い製品を好む傾向が高まり、玩具、自転車業界も同様に夏季商戦を含めて苦戦を強いられました。好調な海外販売は前年同期間より大幅なドル安をカバーする出荷数量の伸びで国内販売の下振れを補いました。

当第3四半期間の苦戦した国内販売で売上を支えたのは、玩具では知育カテゴリーの定番品で、特に「やりたい放題BIG版」等は、消費喚起材料として競合品の群を抜いてチラシに扱われる等、当期特有の前年同期間対比出荷増となりました。又、上半期で低迷していた「ピタゴラス」もキューブタイプのリニューアル発売後のTVCMの効果で、当第3四半期間では好調であった前年並みに支えています。

女兒玩具では、前年同第3四半期に大きく増加していた「お人形シリーズ」がお道具等の値上げを機に当期トレンドでは逆風となっていますが、プラチナセレクトバッグ等価格戦略商品の対策を打つことで下降を食い止めています。

同女兒玩具では、猛烈なアイテム増で市場寡奪の激戦区となった女兒ホビー市場に、「2歳でキッチンデビューシリーズ」等の新製品投入でシェア獲得に挑戦しています。

自転車では、消費低迷挽回に走る量販店のPBアイテム増は過剰供給傾向を強め、その上に当第3四半期のかきいれ時の9月度では異常な天候不順となり、市場全般の低迷に追い打ちがかかりました。上半期に好調に推移した当社独自の商品群もそのあおりを受け受注縮小し、当第3四半期間では大きく前年を下まわりました。しかし三輪車、乗用等を含めた遊具乗り物カテゴリーは、上半期含めて第3四半期累計段階で依然前年を上回り、国内販売の売上構成比が玩具より上昇しています。それに伴い原価高構成比も上期から継続する傾向にあります。

当40期の海外販売は米国向け「Manga-Tiles」が前年と比べ当第3四半期に前倒され出荷をリードし、米大手量販店等に向けた計画出荷が前年より安定してきた様子を見せています。尚、海外販売では、出荷額はまだ小規模ですが、米国子会社向けに2つの新商品群、乳幼児玩具の「Brain Builders」シリーズ、お米のおもちゃの「Mochi」シリーズ等合計19アイテムを11月本格発売に向かい当四半期に出荷しています。

当第3四半期累計期間では、上半期でほぼ前年並みであった国内販売売上が前年実績を下回った事、その内玩具構成比が縮小した分、自転車構成比に寄った上半期と同様の原価高構造となった事から、営業利益は3億7千万円、前年同期間対比8.4%減となりました。経常利益では、USドル預金の為替時価評価が円高ドル安に推移している間、海外販売の仕入決済時では営業外損失計上を含むため、前年同期間対比14.8%減となり、ほぼ上半期構造を継続しています。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から3億35百万円減少の23億93百万円となりました。

流動資産は、年末需要に備えた商品等の仕入に伴い商品が増加した一方、配当金及び法人税等の支払により現金及び預金が前事業年度末から大きく減少したこと等で21億36百万円となりました。固定資産は5月度に設立した米国子会社への出資金43百万円を含み、前事業年度末より44百万円増加の2億58百万円となりました。

負債では流動負債で主に仕入決済等に伴う支払手形及び買掛金の減少と未払法人税等の減少により、負債合計で前事業年度末から2億4百万円減の4億18百万円となりました。

純資産合計は四半期純利益の計上及び利益剰余金の配当により、前事業年度末より1億30百万円減少の19億76百万円となり、結果、自己資本比率は82.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、期首より4億80百万円減少し（前第3四半期累計期間比較では2億51百万円の減少）10億14百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に海外販売向け仕入買付の増加および法人税の支払い等による減少を含み、10百万円の収入（前年同期間は83百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産等の取得および米国子会社設立に伴う関係会社株式の取得43百万円を含む1億円の支出（前年同期間は63百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により3億93百万円の支出（前年同期間は2億1百万円の支出）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の国内販売がミニマム見通しから伸び上がらなかった事に加え、当40期のXmas需要は、12月23日の前後に集中する傾向が昨年より更に強く不透明であること、又、前39期では第4四半期にも出荷があった海外販売は、当期では既に前傾して出荷し、次第4四半期で前年を下回る計画で有る為、次期第4四半期の総売上高は13億17百万円、前年同期間比13%減も想定範囲となります。従いまして、当40期の通期売上高は47億37百万円、前年対比1.6%増を予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第2四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更するものといたします。

なお、当第3四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

(3) 追加情報

（法人税率の変更等による影響）

平成28年3月31日に、「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が公布され、平成28年4月1日以後開始する事業年度より法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、平成29年1月21日から平成31年1月20日までに解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が32.26%から30.86%に、また、平成31年1月21日以降に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が30.62%に変更されております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月20日)	当第3四半期会計期間 (平成28年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,494,083	1,014,385
受取手形及び売掛金	560,112	556,697
商品	408,904	517,503
原材料	1,403	3,807
その他	51,467	44,568
貸倒引当金	△1,064	△1,058
流動資産合計	2,514,904	2,135,902
固定資産		
有形固定資産	93,578	85,232
無形固定資産	1,970	1,991
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	117,725	170,325
投資その他の資産合計	117,753	170,353
固定資産合計	213,301	257,576
資産合計	2,728,204	2,393,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	232,509	173,477
未払法人税等	163,321	11,054
為替予約	51,970	12,405
その他	119,812	163,532
流動負債合計	567,612	360,468
固定負債		
長期未払金	50,000	50,000
繰延税金負債	4,429	7,093
固定負債合計	54,429	57,093
負債合計	622,041	417,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,753,870	1,590,503
自己株式	△33,860	△34,104
株主資本合計	2,121,515	1,957,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,437	26,315
繰延ヘッジ損益	△34,789	△8,304
評価・換算差額等合計	△15,352	18,011
純資産合計	2,106,163	1,975,916
負債純資産合計	2,728,204	2,393,477

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年10月20日)
売上高	3,153,924	3,419,718
売上原価	1,975,058	2,237,173
売上総利益	1,178,866	1,182,545
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	158,833	128,670
販売促進費	61,872	74,422
運賃	120,279	125,293
役員報酬	46,954	52,954
給料及び手当	81,975	95,304
支払手数料	47,890	63,072
研究開発費	122,295	125,584
その他	134,891	147,126
販売費及び一般管理費合計	774,990	812,424
営業利益	403,876	370,120
営業外収益		
受取配当金	780	624
保険配当金	-	751
為替差益	840	-
その他	948	588
営業外収益合計	2,568	1,963
営業外費用		
為替差損	-	25,799
営業外費用合計	-	25,799
経常利益	406,444	346,284
特別利益		
固定資産売却益	432	-
特別利益合計	432	-
特別損失		
固定資産除却損	-	16
特別損失合計	-	16
税引前四半期純利益	406,876	346,268
法人税、住民税及び事業税	137,778	100,707
法人税等調整額	9,023	15,231
法人税等合計	146,801	115,938
四半期純利益	260,076	230,330

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	406,876	346,268
減価償却費	49,010	61,432
売上債権の増減額 (△は増加)	△140,947	3,415
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△180,052	△111,003
仕入債務の増減額 (△は減少)	130,237	△59,032
その他	△248	20,268
小計	264,876	261,347
利息及び配当金の受取額	791	883
法人税等の支払額	△182,489	△251,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	83,178	10,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社株式の取得による支出	-	△43,257
有形固定資産の取得による支出	△64,225	△53,322
無形固定資産の取得による支出	-	△400
有形固定資産の売却による収入	432	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,793	△96,979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△244
配当金の支払額	△200,728	△393,050
その他	△114	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,842	△393,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	374	302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△181,083	△479,655
現金及び現金同等物の期首残高	1,446,350	1,493,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,265,267	1,014,241

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等
当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第3四半期累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

①第3四半期累計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年10月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	994,540	935,938	94.1
女兒玩具	627,265	578,132	92.2
遊具・乗り物	605,768	634,197	104.7
その他・海外販売	926,351	1,271,451	137.3
合計	3,153,924	3,419,718	108.4

②新発売商品及び主なリニューアル商品

カテゴリー名	第1四半期 新発売商品		第2四半期 新発売商品		第3四半期 新発売商品	
	商品名	標準小売価格	商品名	標準小売価格	商品名	標準小売価格
乳児知育玩具	「あんよつよいこウーカールデイクカー」(リニューアル)	¥5,400	指先の知育シリーズ「ホルスター」	¥2,980	「ピタゴラスキューブ これなへんだ？」	¥4,600
	「ンキヤハビシリーズ」	¥500～	ピタゴラスシリーズ「男の子脳を刺激するピタゴラス」	¥5,800	「ピタゴラスキューブ すごいのできた！」	¥9,800
	「泣く子もケロリ！魔法のラトル」他、リニューアル計28種	¥1,780	同「女の子脳を刺激するピタゴラス」	¥5,800	「お米のくるまセット」	¥5,000
	「ンキヤハビシリーズ」 「熱中めんぼうブラス」他、新商品計4種	¥450～	本物そっくり「五感刺激キー」	¥1,200		
	本物オルゴールの枕元メリー(リニューアル)	¥2,000	本物そっくり「いたずらっ子手帳」	¥1,200		
	新生児から遊べるベビージム(リニューアル)	¥2,500	スージーのキチンシリーズ			
	「くにキャラ地球儀」	¥17,500	「密着ハグ・フレンド」	¥3,980		
		「おはなしかけえほん」	¥4,200			
		「やさしさ100%チャーム」	¥2,700			
		「ご出産おめでとうセット」	¥15,000			
女兒玩具	人形「20周年限定プレミアムおしゃべりぼぼちゃん」	¥5,380	人形「2歳のぼぼちゃん お花のチュールレイヤードワンピ」	¥4,380	人形「お風呂もいっしょんがへアぼぼちゃん メッセージプレートつき」	¥3,980
	着せ替え「うさちゃんケーキのワンピ」	¥1,580	着せ替え「お花のチュールレイヤードワンピ」	¥1,280	冬季限定 人形「ふわふわリボンの帽子」	¥4,380
	「うさちゃんの3WAYおしゃべりベッド」	¥2,980	「ピンポンつきおしゃべりぼぼちゃん家」(リニューアル)	¥5,980	限定「デビューセットプレミアムセット」	¥10,000
	「お買い物ベビーカーフレンチローズピンク」	¥4,580	「いっしょにフーしょ、おしゃべりケーキ」	¥1,980	着せかえ「ハートのポケットつきスカート」	¥1,280
	「おしゃべりミルク フラワーデザインボトル」	¥900			着せかえ「お花のプリンセスドレス」	¥1,980
					着せかえ「ふわふわリボンの帽子」	¥1,580
					着せかえ「うさぎ柄着物セット」	¥1,980
				着せかえ「おそろいおでかけセット・うさちゃんコーデ」	¥1,580	
				キッチンデビューシリーズ「洗い屋さんシク」(リニューアル)	¥5,300	
				同「味付け屋さんコンロ」	¥4,800	
遊具乗り物	「Peopleじてんしゃ」12インチ(スピネルレッド)	オープン価格			「全身でブロック Neo」(リニューアル)	¥12,800
	「Peopleじてんしゃ」14インチ(アケマリン、トパーズオレンジ、リミテッドミッドグリーン、プレミアムブルー)	オープン価格			「全身でブロック プレミアム」	¥17,800
					「Peopleじてんしゃ」18インチ(ローズクワーツ、ターコイズ)	オープン価格
					「ラクショライダー」18インチ(サッピアレッド、ブルースター)	オープン価格
					「コマワリ三輪車」3色	オープン価格
					「公園レーサー Ptimo」2色	各¥3,980
その他	「ぐずりに効くよだれかき」3種	各¥1,800			ブランケットクリップ	¥1,300